



JIS K 5970 建物用床塗料 上塗り  
認証番号 JP0508057  
ホルムアルデヒド放散等級  
F☆☆☆☆

## 溶剤系2液型エポキシ樹脂クリヤー塗料

# ボウジンテックス プロテクターⅡ

## BOUJINTEX PROTECTOR Ⅱ

ボウジンテックス プロテクターⅡは優れた浸透力をもつエポキシ樹脂を主成分としたモルタル・コンクリートの補強材です。床面に塗付するだけでモルタル・コンクリートに浸透し、表面を強化します。

※大量の水および、熱水がかかる床面には不適です。

### 用途

- 工場・倉庫など強靱な耐久性・耐摩耗性の必要な床
- コンクリートの地肌を生かした、売場・店舗

### 特長

- 表面補強  
モルタル・コンクリート面を補強し、風化・劣化を防ぎます。
- 優れた耐摩耗性  
一般的なエナメル系エポキシ塗料よりも優れた耐摩耗性を有します。
- 優れた防塵性  
モルタル・コンクリートに塗付するだけで十分なホコリ止め（防塵）効果があります。

### 塗膜性能

試験項目	試験方法	結果
引っかかり硬度 (鉛筆法)	JIS K 5600-5-4に準ずる すり傷	H
耐摩耗性 (摩耗輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる 摩耗輪 CS-17荷重500g×2,1000回転	40mg
耐水性	JIS K 5600-6-1に準ずる 水道水に1ヶ月間浸せき	異常なし
耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1に準ずる 炭酸ナトリウム5%水溶液に48時間浸せき	異常なし
耐酸性	JIS K 5600-6-1に準ずる 硫酸5%水溶液に48時間浸せき	異常なし
耐温水性	JIS K 5600-6-1に準ずる 50℃温水に48時間浸せき	異常なし

## 塗装仕様

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず小面積でテスト塗装を行い、ボウジンテックス プロテクターⅡが含浸することを確認してから全面塗装をする。含浸が不十分な場合はポリッシャー等で目粗しを行う。（目粗しの傷が残ります。）既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。									
上塗り	ボウジンテックス プロテクターⅡ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg	0~5% ボウジンテックス #2000シンナー	ハケ ローラー	2 (~3)	0.12~0.16	44~58 (29~39)	1h以内	3h以上 48h以内	—	16h以上 完全硬化 2日以上

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。  
※塗膜乾燥後も濡れ色に仕上がります。

## 荷 姿

ボウジンテックス プロテクターⅡ 14kgセット（主剤10.5kg 硬化剤3.5kg）  
ボウジンテックス #2000シンナー 16L・4L

## 注意事項

### 【仕様全般】

- 気温5℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは、硬化不良を起こすことがありますので施工を避けてください。
- モルタル・コンクリート養生後、多量の水がこぼれた箇所は1週間程充分に乾燥させてください。
- 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
- 換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
- 静電気をきらう床には塗装しないでください。
- 施工時および施工終了後において、充分な換気を行ってください。
- 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質（VOC等）に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
- 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(SDS)をご参照ください。

### 【塗料に関する注意】

- ボウジンテックス プロテクターⅡは屋内専用塗料のため、屋外には使用できません。また、室内であっても直射日光が当たる部位は黄変します。
- 塗装面に塗料溜まりやマジック跡等があるとクリアー塗装した際、表面に浮き出たり、目立ちますので丁寧に除去してください。
- 下地の吸い込みむらにより仕上がりに濡れ色の濃淡が生じることがあります。
- クラック処理については通常エポキシパテで行いますが、クリアー仕上げのため塗装後目立つこととなりますので、事前に打ち合わせのうえ行ってください。
- 使用前には充分攪拌してください。
- 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分ご注意ください。
- 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調合割合で混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。
- 2液型の塗料は、塗料ごとの可使時間内に塗装してください。
- 2液型塗料は気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
- 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
- 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ず専用シンナーをご使用ください。
- 主剤と硬化剤は別々に密栓し、冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
- 材料の保管・取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。

  
水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151  
東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・仙台・札幌  
カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

OND2607